

# 耐震化と家具の固定で命を守る

Save Lives by Earthquake-Proofing Buildings  
and Securing Furniture

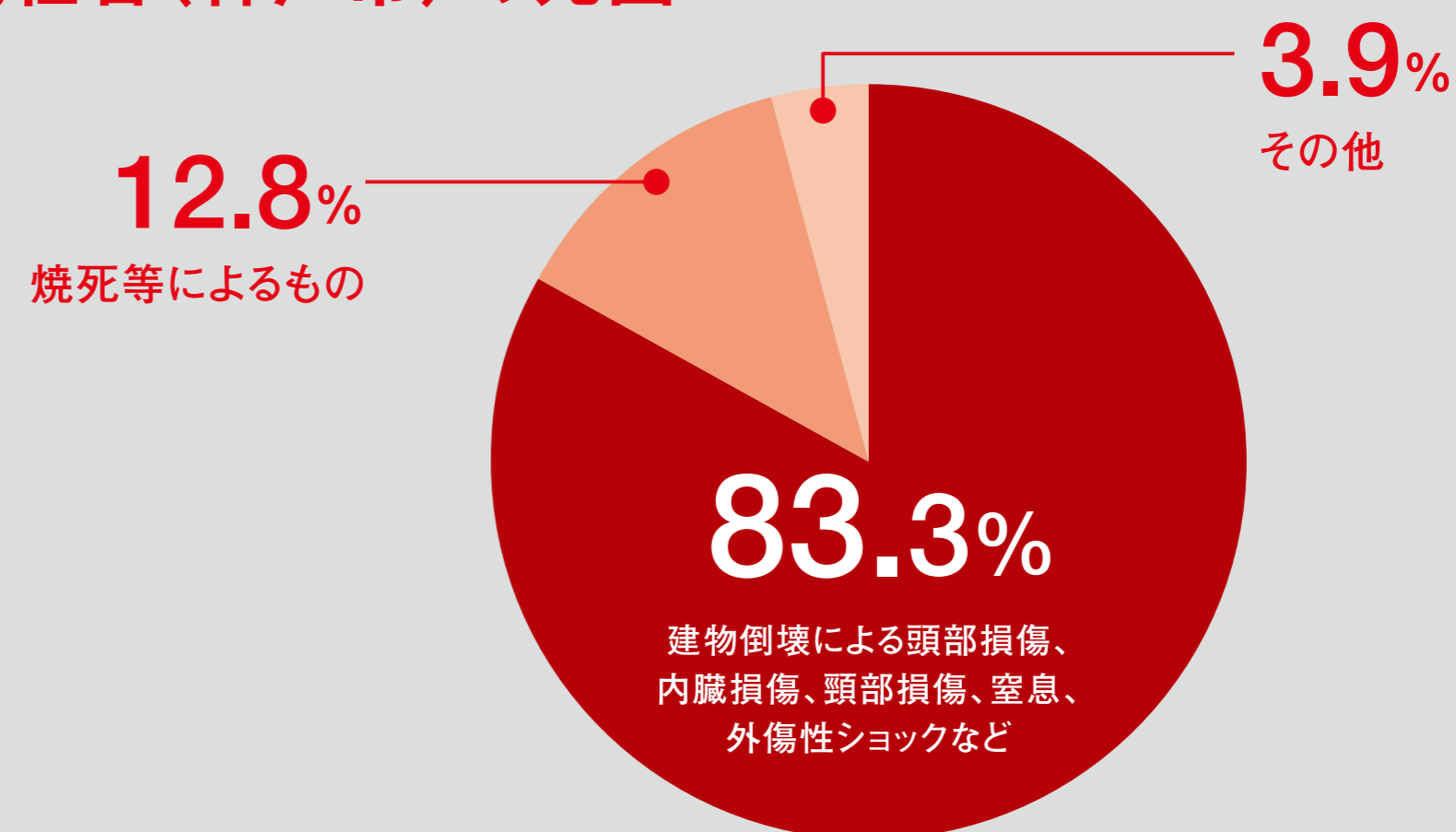


1995(平成7)年に起きた兵庫  
県南部地震(阪神・淡路大震災)

では、犠牲者の8割以上の方が  
建物の倒壊、家具転倒等による  
圧死・窒息死で亡くなっている。

南海トラフ地震等の大規模地震  
に備え、命を守るために、ひとり  
ひとりが住宅の耐震化、家具の  
固定といった備えについて考え、  
対策を実行することが重要である。

阪神・淡路大震災における  
犠牲者(神戸市)の死因\*1



建物の倒壊の  
激しかった  
阪神・淡路大震災\*2



\*1 「神戸市内における検死統計」(兵庫県監察医、1995年)より  
\*2 写真提供:神戸市